

推定によると、アメリカ全家庭の三分の一に Scrabble セットが置いてあるという。Scrabble 愛好家には、マドンナやキアヌ・リーヴズ、シャロン・ストーンやエリザベス 2 世のような有名人も含まれている。

このゲームの最初の登場はかなり控えめで、1930 年代に失職中のアメリカの建築家、Alfred Mosher Butts が前期 Scrabble ともいえるボードゲームを編み出したのであるが、彼は、クロスワードパズルを解く要領とアナグラムを見極める要領を合体させ、これに“運”という要素を加えた。Butt は、これを Lexico^{※2} と名付けた。彼は、のちに The New York Times の一面を調べ、26 のアルファベット文字の出現頻度を計算し、これの改訂版を作って、Criss-Cross Words と名付けた。

Butt は、文字毎に点数を割り当て、文字毎の配分も決めた。このとき、e が最も数多く出現することを発見したものの、s については、出現頻度をそのまま適用すると問題が起こることがわかった。その問題とは、あまり s の数が多くなると、複数形を作りやすく、ゲームの難易度が極端に下がってしまうという点だ。そのため彼は、s の数は 4 ということにした。この配分は現在にも生きている。当初の Butt の創作は失敗に終わった。つまり、彼はゲーム製作会社の興味が引くことができなかつたのだ。それから彼は、起業家 James Brunot を引き入れ、ルールを刷新し、新たに Scrabble(1948 年に商標化)と名付けた。初期の 4 年間、Brunot とその友人たちは、コネチカット州の Dodginton のある廃校の校舎内で 1 時間に 12 セットというスピードで作っていった。1949 年までには 2400 セットが作製されたものの、その操業は 450 ドルの赤字という結果であった。

そこから、話が展開する。1950 年初期、Macy's department stores の社長が休暇中にゲームをプレーした。かれは、すぐに自己の店でゲームを売り出すことになる。そして、国内の大勢のマニアを生み出していく。

愛してやまない趣味

このゲームを好きだというアマチュアのプレーヤーの数は、確かに途轍もなく大きい。しかし、Adams のような強豪愛好家のこのゲームに対する愛情は尋常ではない。

「わたしは、このゲームを仕事後の時間つぶしの一つとして始めた。まあ、余暇というかそういう感じだ。である日、『次の日曜日にこのゲームの大会があるから参加してみたら』と勧められたのだ」と彼は言う。「同僚の一人とわたしは参加して、わたしは 6 試合中 3 試合勝った。同僚と Guyana Association of Scrabble Players のみなさんは、『こいつはいける』と思ってくれたのか、プレーをどんどん続けるように背中を押してくれた。その年の最後には、わたしは、“最も上達した選手” に選ばれたのだ」

Insurance Brokers Guyana Ltd. の財務担当兼総務担当重役である Adams は、一気にランカーになった。彼は、午後 8 時から午前 2、3 時までオンラインで練習し、彼の技量は劇的に上達していった。「上位入賞が普通だったし、それも常時 1、2、3 位にいたものだ」と彼は言う。「そしてわたしは、カリビアン大会における Guyana 代表に選ばれた」

2003年からのトーストマスターであり、多くの重責を担ってきた Adams は、その間切れ間なくインドの世界英語クロスワードゲーム選手権の Guyana 副代表で続けた。

カナダ、アルバ他州のエドモントンにある Dawnbreakers club の七年会員である Wand Yip は、トーストマスターズと英語クロスワードゲームには相乗効果があるとも考える。

「トーストマスターズにおいては、豊富な語彙が話し手を助ける」と彼は言う。「われわれは、スピーチの中で専門用語を可能な限り使わないようにとされている。しかし、時に、特殊な単語は、聴衆の聴く態度を正させる。英語クロスワードゲームにあっても、ある特定の文字で始まる、または、特定の文字で終わるべき単語というのが、ボーナスマスを手に入れるための鍵となる（訳者註：何か、特別な単語が、集中力を生むという意味においてという比較をしているものと思料する）という点において、類似する。」

Yip は、このゲームの競技大会には参加しないが、www.games.com でオンラインゲームを続けているし、モバイル端末で友人とプレーを楽しんでいる。（彼によると、このゲームのアプリは、アンドロイド、iPhone 両方のアプリストアで購入が可能とのこと）

更なる挑戦

Adams にとっても、トーストマスターと強豪戦士であることの両立が困難になり、ついには、選択を迫られる時がやってきた。

「わたしは常に挑戦を求め、」と彼は言う。「関わることには、いつも全力投球でいたいと思っている。District の担当者となった時、流石に仕事が多すぎて、競技選手として続ける欲求のレベルを適度に保つということができなくなっていた」

彼は、「いつか、このゲームの競技者として戻ってくるだろう」と言う。そこでは、魅力的な言葉たちが、トーストマスターズの文法家がワード・オブ・ザ・デイとして提案するどんなものをも凌駕している。お疑いの向きには、Adams が上級単語をいくつか用意している。彼が、大会で遭遇した単語：lazulis、zoochory、qabalah、qindars そして xylogen。

そう、これらは、全てれっきとした言葉なのだ。
文法家諸兄、是非ともその辞書にご登録を！

《終わり》

※1 フック (hook) : Scrabble 用語の一つ、単語の前後に 1 文字つけることを言う

※2 lexico : lexicon (ラテン語で語彙集の意味) の所有格または接頭辞形と思料される